

令和6（2024）年度 大分県人権問題講師団一覧

講演内容等一覧（人権課題の項目については法務省人権擁護局「人権の擁護」の「主な人権課題」を参考にしています）

番号	市町村名	氏名	人権課題																	講師からのメッセージ	
			部落差別問題	女性	子ども	高齢者	障がいのある人	アイヌの人々	外国人	感染症	ハンセン病患者・元患者・その家族	刑を終えて出所した人	犯罪被害者等	インターネットによる人権侵害	北朝鮮当局によって拉致された被害者等	ホームレス	性的マイノリティ	人身取引	震災等の災害に起因する人権問題		その他
1	中津市	林 史郎	○	○	○	○	○		○	○				○				○			中津市内で「いつでもどこでも何人でも」をモットーに人権啓発を行っています。様々な人権課題について受けつけています。
2		菊原 壮太	○	○	○	○	○		○	○				○				○			中津市内で「いつでもどこでも」を基本に人権啓発活動を行っています。
3		榎本 実穂子	○	○	○	○	○		○	○				○				○			中津市で社会教育指導員として「いつでもどこでも」を基本に人権啓発活動を行っています。
4	豊後高田市	見矢野 あけみ	○																		ある教師とのあいだで、闘う仲間の存在を知った。今、差別をなくす為に自分に出来る事は何か…共に考えてみませんか。
5		近藤 浩二																		差別をなくすということ	「差別をなくすということ」とは、どういうことか、それはどのような状況なのかを一緒に考えてみませんか。「差別してない私」から「差別をなくす私」になるために。
6		今熊 啓司	○			○															少子高齢社会の中、私にとって最も身近な問題であり、終活のあり方も含め、共に考えたいと思います。未だ部落差別問題の解消ができていない現状を共に考えたいと思います。
7		後藤 史明	○				○												○		自分の学びを活動につなげ、「差別を許さない」取り組みを続けていきたいと思っています。
8	宇佐市	大久保 和則	○	○	○	○	○		○					○					○	ハラスメント CSR	今も残る部落差別をはじめとする不条理な差別やいじめを、一日も早くなくしたいとの思いで、啓発活動に取り組んでいます。
9		山末 由紀	○																		部落に嫁いで来て、地区の方々・子どもたちと一緒に地区学習会を通して学んでいます。地区の親として、指導員として、実体験をもとに話しています。
10		さおり	○																		私の経験や体験、両親が受けた部落差別、そして、今の自分について講演していこうと思っています。いつか差別がなくなる日が来ることを願い、私が少しでも伝えていくことが出来ればと思います。
11		矢口 孝芳	○		○	○	○		○												日々のコミュニケーション・生活の中に潜む無意識の差別
12	杵築市	財前 俊弘	○																	部落差別の問題を、歴史的資料をもとに一緒に考えながら、認識・意識を問い直す内容です。	
13		松縄 英孝	○	○			○												○	スポーツと人権 ことばと人権	人権侵害は古くからの言い伝えや、誤解・偏見によって起こることが多いと思います。人権侵害をなくすには正しく知ることが大切です。常に学び続け、正しい知識を身につけましょう。
14		峯松 徹	○						○						○						交差性・複合差別
15	日出町	林 東洋一	○		○																「身近な人権」について、互いに「学び合い・語り合い」ながら、自分のこととして考え、新たな「気づき」が生まれればと考えています。
16		池田 実																			人権総論
17	別府市	松井 達治			○	○	○														現役の薬剤師であり、認知症予防脳トレ士として、脳の使い方を伝え、いつまでも自立した生き生きとした人生を歩む。また親が自分と子ども達の可能性を信じていることができる考え方を伝え喜んでいただくお手伝いができます。
18		神田 憲治					○														障がい者のことは障がい当事者へお尋ねください。障がい者のお手伝いを通して小さなうちから思いやりの心。誰もが歩きやすい街づくり。
19		津田 憲吾			○		○														発達障害 ダイバーシティ

番号	市町村名	氏名	人権課題																	講師からのメッセージ	
			部落差別問題	女性	子ども	高齢者	障がいのある人	アイヌの人々	外国人	感染症	ハンセン病患者・元患者・その家族	刑を終えて出所した人	犯罪被害者等	インターネットによる人権侵害	北朝鮮当局によって拉致された被害者等	ホームレス	性的マイノリティ	人身取引	震災等の災害に起因する人権問題		その他
20	大分市	山月 孝	○		○	○	○	○			○							○	日常生活のなかでの人間関係	高齢化した自分の研修体験（差別の現実からの学び）をさらに深めたい。地域住民の生の声をさらに深く聴き取りながら学びの機会を多く持ちたい。	
21		マックビーン 光子	○	○	○	○	○			○	○	○							アサーション ハラスメント 感情のコントロール	「笑顔・感動・ほめる」をベースにした優しくわかりやすい内容です。一人一人が笑顔で輝いて生きることが人権につながっていきます。笑いヨガを含み、参加者が元気で幸せな気持ちになっていただけるような人権講演です。	
22		御手洗 詳子		○	○	○	○														「幸せになるために産まれてきた」をベースに、笑顔になり、温かな気持ちになるような優しい講演をお届けします。
23		赤峯 友子	○	○	○	○	○						○							身近な人権、自分の人権 コミュニケーション デートDV	知らないということが差別や偏見を生むことにつながります。誰もが自分らしく幸せに生きることができるよう一人一人が気づき学ぶこと、そして学び続けることが大切です。
24		佐藤 秀一		○	○	○	○														人に笑顔を届けるために落語をしています。また、色々なことに挑戦してきた人生です。こうした経験を通して明るく楽しいお話をさせていただきます。「笑って元気に！！」
25		工藤 美奈子		○		○	○														女性が笑顔で明るく生きていくためには、自身が企業で働きながら経験したこと、さまざまな「気づき」を皆さんと学んでいける場面づくりをしていきたいです。
26		須藤 里美		○	○	○	○														笑顔と元気をお届けする「幸せ宅配便」ハッピー里ちゃんというネーミングで活動しています。絵本をベースに、その場の雰囲気楽しく講話。来て良かった～と思える場づくりに努めます。ダウン症の従兄弟のためにも障がい者に対する理解をしてもらいたいと思っております。
27		沓掛 通代		○	○		○						○								アウェイ育児による孤立や不安、障がい者の気づいてもらえない苦しみ、虐待やDV〔デートDV〕が及ぼす影響、自尊感情を高め「命の大切さ」を感じていただけるよう自身の体験を織り交ぜながらお話をさせていただきます。
28		岩川 義枝		○			○														コミュニケーションは、言ったのではなく伝わったです。心の掛け違いでつらい思いをしている人は多くいます。ちょっとした思いやりの心で笑顔が生まれます。人間関係がスムーズに行く方法をワークをしながらお伝えします。
29		内田 俊晴			○	○														アンガーマネジメント ペアワーク 消費生活相談員	「怒り」で後悔しないようにアンガーマネジメントで怒りの感情と向き合い、ペアワークで前向きな言葉の力を身に付けて、自分も周りも健康的に幸せに生きるためのセミナー・講演会を実施します。さらに、講義やワークショップを通じて、若い世代や高齢者、労働者に消費者の権利について教育します。
30		牧野 照美			○	○															看護師歴40年、現在訪問看護をしている。認知症患者様家族、高齢者、施設職員、子育て中の母親、いじめ等 自分の経験をもとに人権について アンガーマネジメント（怒りの扱い）をまじえてお話しします。
31		進 美保子		○	○	○							○							コミュニケーション アンコンシャスバイアス ハラスメント メンタルヘルス 感情コントロール 他	人と人が出会い心が打ち解ける時、人は自然と笑顔の花を咲かせます。どのような時間を重ねるかで心の距離は変わります。「笑顔の種まく〜魔法のコミュニケーション」をご一緒しませんか？コミュニケーションの鍵は「感情」です。落語を題材にした「答えは落語の中にあっただ」シリーズでは、感情を紐解き笑いをプラス。新しい視点と発想で笑って泣いて心開いて人生をより良く生き活きと楽しみましょう。※(下手ですが)落語もできます。
32		安藤 蘭美		○	○	○							○								自分を大切に、自信を持って毎日楽しく過ごせるように…心が楽になる考え方やほめる事の大切さについて絵本を使ってわかりやすくお話しします。癒やしや気づきを感じてもらえる時間をお届けします。
33		岩川 幸造			○		○														私には3歳の時に広汎性発達障害の診断を受けた娘がいます。「どうして泣き続ける」「どうして寝てくれない」そんな疑問を抱きながらの子育てでした。その異常さにも最初は気付かず、必死で育てる日々が続きました。娘も23歳となり、明るく元気に過ごしています。この子育てで学んだ貴重な経験をお伝えします。
34		u t a			○																やさしい人権、世界基準での人権、子どもにも大人にも分かりやすく…歌やピアノ、絵本と共にお伝えします。
35		井上 杉夫	○	○	○	○	○					○	○	○					○	コロナ差別 福島原発事故疎開者への差別等	コロナ禍の社会も通常生活に戻ったように見えますが、3年間にわたる自粛生活は様々な面で新たな問題を抱えることになりました。そうした現象面や心理的な状態が人権に及ぼす影響と対策を元刑事の私と一緒に考えましょう。
36		海原 みどり		○	○	○															長年、地元放送局でアナウンサーとして勤務したキャリアを活かし、メディア現場での体験談を交えながら、〈言葉によるコミュニケーション〉を中心に人権啓発活動を行います。
37		吉田 由花			○																子どもの人権を知ることで、子どもを尊く感じると共に関わり方が見えてきます。またモンテッソーリ教育をベースとした「子どもの生きる力を育み、大人の共感力を高める【家庭教育法】」についてもお伝えします。
38		川口 京子					○														発達障害児（者）の理解が社会に進むように、特性と関わりについてお話をさせていただきます。また、ご家族の支援についても必要性とともに環境調整についてお話をさせていただきます。
39		利満 邦家		○	○																〇いじめ問題を考える 〇私の「いじめられ体験・笑って人生」の講演（60分～90分） 〇「いじめ体験の絵本」でのワーク学習（60分～90分） 〇「いじめの実体」「いじめのメカニズム」「いじめ対策」ワーク学習（2時間以上グループ） 〇「いじめ」についてのパネリストワーク学習（2時間以上） 〇「なぜ？いじめは犯罪」なのかをワーク学習（2時間以上・グループカウンセリング式）
40	三重野 真美			○																世界で行われている包括的性教育は人間関係や性の健康、ジェンダー平等をベースとした人権教育です。ワークや体験学習を取り入れながら、心とからだ健康で幸せに生きていくために、今日からできることを一緒に学んでいきます。	
41	吉本 寛子		○	○	○	○						○								DV・デートDV・面前DV・児童・高齢・障害者虐待・セクハラ・パワハラ・LGBTQ・相談の受け方	差別や暴力などを受けている女性や子どもなどの民間支援団体として、当事者支援の経験を通してお話しします。講演・参加型ワークショップなどご要望に応じた手法で理解を深めるためのアレンジをいたします。
42	原田 英夫	○		○																前職の医薬品総合商社では主に人事部門で勤務し、研修・講演は500回超実施してきました。そのスキルを活かし人権問題を「学ぶ」から解消に向け「行動する」を目的とし「考える」内容でお伝えします。	
43	佐藤 淳子			○																高校生たちとのボランティア活動や講座を行う中で得た「気づき」を皆さんと共有していきます。私たちがどのように関わると子どもたちは輝くのでしょうか。一緒に考えてみませんか？	

番号	市町村名	氏名	人権課題																	講師からのメッセージ
			部落差別問題	女性	子ども	高齢者	障がいのある人	アイヌの人々	外国人	感染症	ハンセン病患者・元患者・その家族	刑を終えて出所した人	犯罪被害者等	インターネットによる人権侵害	北朝鮮当局によって拉致された被害者等	ホームレス	性的マイノリティ	人身取引	震災等の災害に起因する人権問題	
44	臼杵市	匹田 久美子	○	○	○													○		人権を「生きていく上で欠かせないもの」として、自分の暮らしや身近な人間関係に活かしてほしい。だれの心の中にもある偏見や思いこみに気づき、多様性を認め合う真に豊かな社会のあり方を考えたい。
45		柳井 信一	○		○		○													～いのち・つながる・つなぐ～という想いを基に、マジック（手品）を交えて楽しく語ります。生きるとは、ちがいを認め合うことです。対話を通して「ともに生きる」ことの大切さを一緒に考えていきましょう。
46	津久見市	木村 武司	○		○		○													誤った思想や偏見が差別をうみ人権を侵害していることをパワーポイントを使ってわかりやすく説明します。そして、正しい理解が差別・偏見に惑わされない人権意識をつくり言動も変えていくことをともに学びましょう。
47		岩崎 幸弥	○		○														気持ちが変わるコミュニケーション	参加型学習（グループをつくってフリートークの井戸端会議）を取り入れながら、部落差別問題をはじめとした人権学習を進めます。
48	佐伯市	佐藤 丞	○			○													○	身近な人権、部落差別問題とその背景や起源のこと、性同一性障害の問題、外国人の人権、高齢者の問題では元気に活動している高齢者の生きざまを伝え問題解決を共に考えます。講座の中で太極拳などの健康法も取り入れます。
49		谷川 浩明					○													様々なハンディを抱える仲間達から教えられたこと、気づかされたこと等を楽しくお伝えできたらと思っています。
50	竹田市	田北 敏彦	○				○													迷信 ・精神障がいの姉を通して障がい者への差別の解消に向けて学習していきます。 ・六曜等の迷信と差別・偏見の関連をわかりやすく説明します。
51		足立 直隆	○		○						○	○	○							私は、40年近く法務省矯正職員として、刑務所や少年院で犯罪者や非行少年の指導に当たってきました。その職務体験談を語る中で「犯罪被害者の人権」「矯正施設からの出所者・出院者の人権」問題について理解をいただき「差別を許さない」という気持ちを喚起していけたらと思います。
52	豊後大野市	神田 幸子		○		○	○												○	認知症になっても障がいを持っても、住み慣れた地域でその人らしく生きる地域づくりのボランティア活動をしています。現場の生の思いをお伝えできたらと思っています。
53		三宮 信雄	○		○	○														六曜 日常生活において、「おかしいな」と考える人権問題での気づきが多くなっていくことを期待しています。
54		渡邊 久洋	○																	私達は、自分自身も気がつかない間に差別心を刷り込まれている。その事に気づくことが人権問題の解決につながると思います。
55		三浦 芳行																		笑って身近な人権 人権の大切さを笑いを入れて伝え、笑顔と明るい言葉の必要性についてお話しします。
56	日田市	橋本 成人	○																	
57		佐藤 康雄	○		○	○													○	コミュニケーション アサーション いじめ 自己肯定力 アンコンシャスバイアス 親子愛育クラブ 自己肯定力、感謝、自愛をキーワードに講話やワークショップの中心の気づきを見つけられる講座です。「ラブマザー 今我が子に伝えたいこと」子ども達が今必要としている事、大人が共感力を高め、子どもの自己承認を育むことが大切です。自分の悩みは誰かのヒントです。子ども達が自分の力で幸せに生きるために大事な事、今日から出来ることをお伝えします。
58		高倉 誠二	○																	
59	九重町	安藤 千恵美	○	○	○	○														音楽と人権～歌の中にある人権～ 日常生活の中で感じる人権問題を音楽（歌）をとおして表現し、人権との出会い、人と人のつながりの大切さを伝えていきます。人権は“他人ごと”ではなく、自分の問題として「知る」「学ぶ」「伝える」こと気づきを伝えていきたい。
60	玖珠町	池部 小枝子	○	○	○	○	○				○	○	○							アンコンシャス・バイアス ハラスメント 32年間中学校現場にいて、子どもや親の姿から学ばされたことを中心に「自己肯定感」「自己存在感」を、子どもも大人も持てることをめざして、日常の具体的なこととお話しします。